

# 有限会社 協栄農場



つるぼー  
鶴居村マスコット  
キャラクター

## 先進酪農に取り組んできたメガファーム

お問い合わせ Tel 0154-65-2337 Fax 0154-65-2279



## 最新の搾乳ロボットで、 高品質の生乳を生産

協栄農場の設立は1964年。地域の酪農家約10軒が集まり、共同経営で力を蓄えようと始まりました。当時は全国でも珍しかった、地域に先駆けて行われた酪農家の法人化です。その後、牛舎内を自由に歩けるフリーストール牛舎などへ改良を続けながら、2020年には最新搾乳機を導入して牛舎の大きな改築を行っています。現在は約800頭のホルスタインを管理するメガファームへと成長しました。協栄農場

が特に大切にしているのは、生乳の品質。2006年以前の幌呂(鶴居村)農協時代には、品質基準である細菌数や濃度において日本一の生乳品質に輝いたことも。生乳をしぼる搾乳作業は腕前が品質に影響するため、ロボットの導入によって均一化を図っています。



### 会社概要

法人名：有限会社 協栄農場  
〒085-1143  
北海道阿寒郡鶴居村字幌呂北1線26

創業年：1964年  
代表者：藤澤 誠  
従業員数：13人

### 一言PR



藤澤 誠  
代表取締役

当牧場はどこよりも先駆けて酪農家の法人化に取り組み、2~30頭規模からメガファームへ成長しました。道東の基幹産業の一員である当牧場の現在の方針としては、頭数を増やしつつも生乳品質を維持・向上させ、安定した経営を行うことです。ロボットや外国人実習生の導入により、仕事の肉体的負担は軽減されましたが、生き物を扱っているので仕事は簡単ではありません。単純作業のみならず牧場全体を把握し、経営の一翼を担ってくれる人材を探しています。



## 最新のロボット搾乳機

搾乳ロボットは140年の歴史を持つスウェーデンの酪農機器メーカー「デラバル」製。同時に24頭を搾乳でき、乳頭の洗浄や吸引管の設置までロボットが自動で行います。また個体別に生乳量の平均値や前回データを記録しているため、病気などの異変が把握しやすくなっています。



## 4エリアに分けて管理されている牛たち

牛は生乳量と妊娠状態で分けて管理を行っています。またエサも最も生乳量の多い牛群には栄養価の高い濃厚飼料を多くし、若くからだづくりが必要な牛群には牧草を多めに与えるなどの工夫を施しています。また、牛ごとにデザミス社製のユーモーションを導入。運動量・食事量・反すう率などのデータを取得して、管理に役立っています。



## 新築の社員寮

希望者には社宅を提供。2020年に完成したばかりのエアコン付きオール電化アパートです。ハウスメーカーに注文したもので、しっかりした作りの1Kになっています。